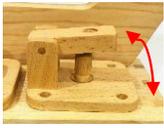
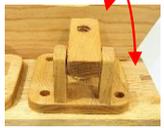
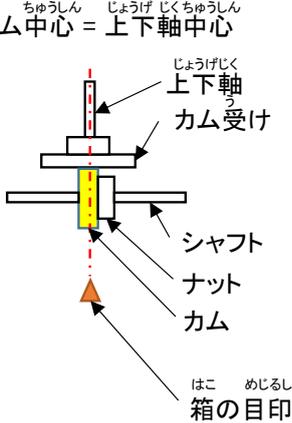
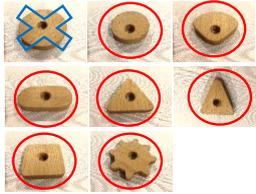
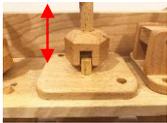
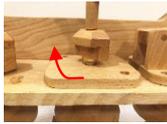
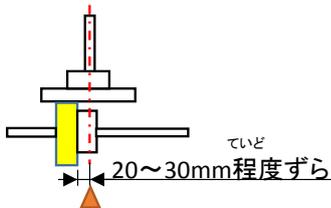
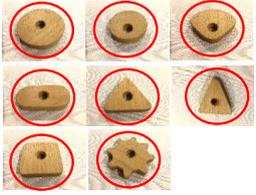
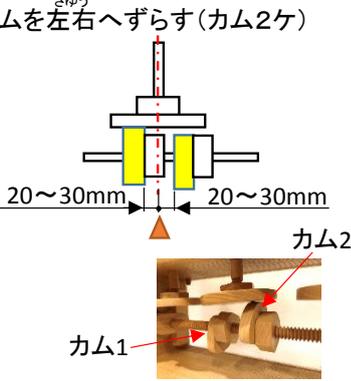
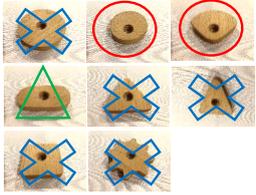


箱上ユニットとカムの組み合わせ

箱の上のユニットと、カムの組み合わせを変えることで、いろいろな動きが作りだせます。  
箱の上のユニットに対して、カムの種類や組み付ける位置が変わりますので、下記を参考に組み付けてください。

箱上ユニット	動作パターン	カムの位置	使えるカムの種類
<p>ようどうユニット</p> 	<p>横ゆれ</p>  <p>縦ゆれ</p> 	<p>カム中心 = 上下軸中心</p> 	
<p>上下&amp;回転ユニット (マルチ棒の場合も、カムの種類や位置はこのユニットと同じ考え方になります。)</p> 	<p>上下</p>  <p>片側回転</p> 	<p>カムをずらす</p> 	
<p>キョロキョロ</p> 	<p>キョロキョロ</p> 	<p>カムの左右へずらす(カム2ケ)</p>  <p>カム2ケは180°角度をずらして取り付けます。(※)</p>	

※ キョロキョロ動作とは、右回転・左回転を繰り返す動作のことで、2つのカムの角度を180°ずらすことで、カム受けにたいして右・左交互に摩擦力が発生し、右回転・左回転を繰り返すキョロキョロ動作ができます。